



Special Exhibition

“120th Birth Anniversary:
Biological Research
by Emperor Showa”

2021
4/20_火
|
6/20_日

生物学で研究

昭和天皇の

ご生誕120年記念企画展



国立科学博物館 (東京・上野公園)

National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

日本館1階 企画展示室

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 5月10日(月)・17日(月)・6月14日(月)

入館料 一般・大学生630円(団体510円)(税込)
※常設展示入館料のみでご利用いただけます。

主催: 国立科学博物館

協力: 宮内庁、栃木県立博物館、日本学術振興会、山階鳥類研究所

お問い合わせ: TEL.050-5541-8600 (ハローダイヤル) FAX.03-5814-9898
<https://www.kahaku.go.jp/>

※会期等は変更となることがあります。

※入館には、オンラインによる事前予約が必要です。
詳細はホームページをご覧ください。

昭和天皇の生物学ご研究

昭和天皇(1901年~1989年)は、ご幼少の頃から生物を研究することに興味を持たれ、生涯にわたる標本収集、そして、特に変形菌類や植物、ヒドロ虫類についての分類学研究などにより生物学の発展に大きく貢献をされました。昭和天皇の標本コレクションは総数6万点を超え、その多くが国立科学博物館に移管されています。今年は昭和天皇のご生誕から120年となります。この記念の年に、生物学者としての昭和天皇のお姿や、そのご研究の内容について、貴重なコレクションを通じて紹介する展覧会を開催します。



昭和天皇が新種として発表されたヒドロ虫類 キセルカゴメウミヒドラ

昭和天皇の生物学ご研究とコレクション

昭和天皇は、ご自身で生物を採集されるだけでなく、国内外からたくさんの方の標本の寄贈も受けられました。多種多様な標本で構成される「自然史博物館」さながらのコレクションの一端を紹介します。



生物学御研究所正面(左)と液浸標本室(右) 写真提供:宮内庁



植物の押し葉標本(上) 変形菌類の彩色原画(下)

昭和天皇の生物学ご研究史

昭和天皇が生物学にご興味をお持ちになったのは、12歳の時に那須塩原で植物と昆虫との関係をお調べになったことがきっかけといわれています。ご幼少期から崩御までのご研究の歴史を紹介します。

ヒドロ虫類の液浸標本



昭和天皇のライフワーク研究

昭和天皇はご専門とする変形菌類、植物、ヒドロ虫類に関するご研究で多くの成果を挙げられました。昭和天皇のライフワークともいえるこれらのご研究について、ご収集標本や出版物を通じて紹介します。

『皇居の植物』(保育社、1989年)



昭和天皇と国内外の研究者との交流

昭和天皇のご研究は、服部廣太郎をはじめとする多くの研究者に支えられていました。また、昭和天皇は、生物学の発展のため、ご自身で採集された標本を国内外の研究者からの求めに応じて積極的に提供されました。



服部廣太郎 写真提供:服部浩美

昭和天皇の生物学へのご貢献

昭和天皇のご収集標本やご報文・ご著書などは、それぞれの生物を研究する上で欠くことのできない資料として世界的に活用されています。また、国際生物学賞が長年の昭和天皇の生物学ご研究を記念して創設されるなど、昭和天皇はさまざまな形で生物学の発展に貢献されています。



国際生物学賞賞牌 写真提供:日本学術振興会

お歌の紹介

昭和天皇が詠まれたお歌とそこにこめられたご研究の成果や人々との交流などを紹介します。



成長したメタセコイアをご覧になる昭和天皇 写真提供:宮内庁

入館に際しての注意事項

- 入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。
- 入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。
- 入館中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/>

アクセス

- ◆ JR 「上野駅」公園口から徒歩5分
 - ◆ 東京メトロ銀座線・日比谷線 「上野駅」から徒歩10分
 - ◆ 京成電鉄 「京成上野駅」正面口から徒歩10分
- ※館内に駐車場および駐輪場はございません

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
TEL: 050-5541-8600(ハローダイヤル)
FAX: 03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>

